

防災ミニ講座 ～第 8 回～

～ 改定ハザードマップをしっかりと見よう! ～

ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図に示したものです。

福井市では、令和3年度に**内水ハザードマップ**と**洪水ハザードマップ**を見直し、より激しい豪雨の条件下での各地の浸水状況を示しました。その内容をよく読んで、自宅の浸水リスクや安全な避難経路の確認をしてください。なお、この改定ハザードマップは、本年3月中に各家庭に配布されます。



◎ **内水ハザードマップと洪水ハザードマップの違い**

内水とは、大雨で市街地の下水道等から雨水を排水することができず、市街地などが浸水することです。

また、**洪水**は、大雨で河川の水位が上昇し、堤防から市街地に水があふれることです。

洪水は内水より発生頻度は低いと思われませんが、大きな浸水被害が発生します。

1 内水ハザードマップ (市雨水対策室より)

☆ **1 時間に 43 mm の雨が降った場合**

浸水想定区域図を見ると、花月橋通りより西側の足羽地区では、局所的に浸水が発生するおそれがあります。その浸水深さは 0.3m 程度となっています。

☆ **1 時間に 130 mm の大雨が降った場合**

各地区の浸水深さは、0.3m 未満、0.3～0.5m、0.5m～1.0m、1.0m 以上の 4 段階で色分けされています。花月橋通りより西側の足羽地区では、浸水が発生する恐れがあります。深いところでは 1.0m 近くになるところも出てくる可能性があります。



2 洪水ハザードマップ（市河川課より）

https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/koutu/kasen/p010331_d/fil/tiku14s.pdf

☆基本想定 概ね 100 年に一度の洪水による浸水状況 （2 日間で総雨量 3 7 6 mm の大雨を想定）

浸水想定区域図には、浸水深さが、0.5m 未満、0.5～3.0m、3.0m～5.0m、5.0m 以上の 4 段階で色分けされています。基本想定では九十九橋通り西側の多くの地区で、3.0m～5.0m の 2 階まで浸水する想定です。地盤標高がやや高いつくも・毛矢地区でも 0.5～3.0m が浸水する想定となっています。



ちなみに、平成 16 年の福井豪雨では **2 日間の総雨量が 268mm** でした。

昨年度も総雨量 300mm 以上さらに 500mm 以上の豪雨が他県では頻発しています。

☆最大想定 概ね 1000 年に一度の洪水による浸水状況 （2 日間で総雨量 7 7 6 mm の豪雨を想定）

最大想定 of 浸水想定区域図を見ると、標高の低い所では 5.0m を超える 2 階以上の浸水に見舞われる可能性があります。また、足羽地区の多くの箇所では 2 階の床が浸水することが想定されています。

○その他：市の上記記載ホームページでは、各地の浸水深さが数値で表示されます。また、水が引くまでの概ねの時間（浸水継続時間）も調べられます。

◎ 足羽地区の標高（海拔）

足羽地区の地盤標高のデータを見ると、高い所は、足羽 1 丁目が標高 9.4m、つくも 1 丁目が 9.3m、毛矢 1 丁目が 8.9m で、逆に、低いところは、桃園 1 丁目が標高 6.2m、足羽 2 丁目が 6.8m と足羽 4 丁目が 7.0m と記載されています。

同じ足羽地区でも、地盤の低い所と高い所では、2～3m の標高差があります。

福井市内の各地区の地盤標高は下記のサイトにデータ記載

<https://www.hyoukou-ichiran.com/category/福井県の標高|海拔|緯度経度/>

◎ 浸水災害時の指定避難所

足羽地区の大雨災害の指定避難所は以下の通りです。

- ① 足羽小学校（足羽地区で最初に開く避難所）3 階建て
- ② 足羽公民館 3 階建て
- ③ 自然史博物館 1 階以上が利用可能

（文責：防災部会 宮崎、玉崎、吉岡、角上、尾崎）



☆以下は、メモです

足羽地区の標高

下記の福井市内の各地区の地盤標高は下記のサイトにデータが記載されている。

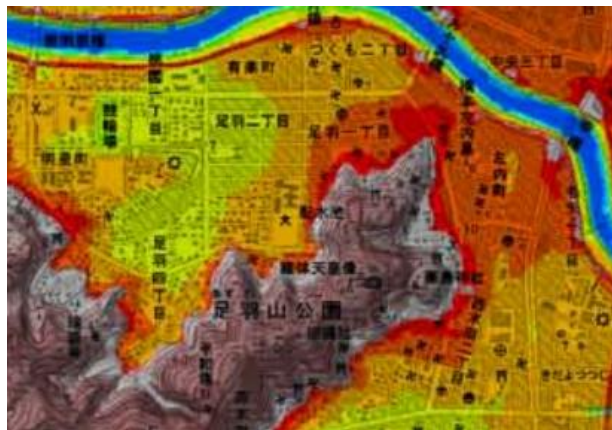
出典: <https://www.hyokou-ichiran.com/category/福井県の標高|海拔|緯度経度/>

それを見ると、足羽地区の地盤標高が高い所は、足羽1丁目が9.4m、つくも1丁目が9.3m、毛矢1丁目が8.9mである。逆に、低いところは、桃園1丁目が標高6.2m、足羽2丁目が6.8m、3丁目が7.1mである。従って、地盤の低い地区では、高い地区に比べ、洪水が起こると、浸水深さは2~3m深くなる。

足羽地区(標高)

足羽上町	83.8m	足羽山の上
小山谷町	79.7m	//
つくも一丁目	9.3m	九十九橋から桜橋の間
つくも二丁目	7.7m	花月橋から九十九橋の間
足羽一丁目	9.4m	
足羽二丁目	6.8m	
足羽三丁目	7.1m	
足羽四丁目	7.0m	
足羽五丁目	8.0m	
有楽町	7.6m	
桃園一丁目	6.2m	
桃園二丁目	6.7m	
明里町	6.4m	競輪場の裏側南北に
毛矢一丁目	8.9m	フェニックス通りの東側
毛矢二丁目	8.0m	// と商工会議所西通りの間
左内町	8.0m	
毛矢三丁目	35.9m	藤島神社か?

<https://www.gsi.go.jp/hokuriku/digitalmap-fukui.html> 国土地理院 data



標高値

250m 以上	1000m 未満
100m 以上	250m 未満
50m 以上	100m 未満
25m 以上	50m 未満
10m 以上	25m 未満
9m 以上	10m 未満
8m 以上	9m 未満
7m 以上	8m 未満
6m 以上	7m 未満
5m 以上	6m 未満
4m 以上	5m 未満
3m 以上	4m 未満
2m 以上	3m 未満
1m 以上	2m 未満
0m 以上	1m 未満

足羽地区の指定避難所

[データ](#)

<https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/koutu/kasen/p010331.html#1toha>

「洪水・土砂災害ハザードマップ」が改定されました!

基本想定(で九十九橋通り西側地区では、3.0~5.0mの浸水が発生

最大想定で

◎https://www.city.fukui.lg.jp/kurasi/koutu/kasen/p010331_d/fil/14s.pdf

「mい」 最大想定において、花月橋通り西側地区では1~2週間の浸水期間

◎各住所の浸水深さ

桃園1丁目のように住所ごとに浸水深さが調べられる。

◎土砂災害ハザードマップ

足羽地区では、足羽山の裾野周辺の大半が大雨等によりがけ崩れや土石流が起こるおそれがある「特別警戒区域」として、記載されています。過去の福井豪雨の時、足羽山運正寺坂の下り道で大きな崩落も起こりました。急傾斜地付近の住宅では大雨時注意が必要です。

がけ崩れなど土砂災害の起こるおそれのある警戒区域について、上記の洪水ハザードマップに合わせて記載されています。

☆家に備蓄しておくもの

防災ミニ講座

~No.7 避難先は、小中学校・公民館だけじゃない。~

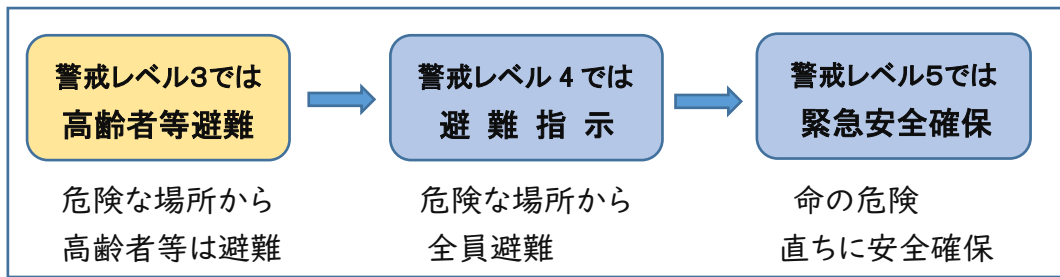
今年の梅雨時にも、大雨・豪雨に見舞われ、地域によっては大規模な土砂崩れ・土石流により多くの人命が失われるなどの災害が発生しています。これらの災害に備えることを平常時から考えておきましょう。

今回は、市町から避難情報が発せられた場合の避難先について考えましょ

避難情報



う。



■ 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです

安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

(鉄筋コンクリートの高階層住宅などにお住まいの場合などは、危険度は低いのでは…)

■ 警戒レベル3<高齢者などは避難>や警戒レベル4<全員避難>が出たら、危険な場所から避難しましょう

避難に時間を要するかたは、警戒レベル2(大雨・洪水注意報等)が市町から発せられたら、避難先(どこに)・避難経路(どのように)・避難準備(何を持つ)の再確認をしておきましょう。ハザードマップ(8月号記載)で自宅の危険度を見ておきましょう。

■ 避難先は小中学校・公民館だけではありません

○安全な近隣宅や親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう

… そのためには、日頃から近所づきあいは大切ですよ! 近所の鉄筋コンクリートの頑丈なお宅の方と話し合い、万が一の時、避難させてもらうのも選択肢の一つかと思えます。

○また、費用は掛かりますが、頑丈なホテル等の高層階に宿泊するのも安全かと思えます。

■ 警戒レベル5はすでに災害が発生している状況です

車の移動も危険です 無理な屋外非難は控えましょう

・警戒レベル5が出てもまだ避難できていない場合は、自宅から指定避難場所等への避難はかえって命に危険を及ぼしかねません。近隣のより安全な建物への避難や自宅内でもより安全な場所(2階以上や土砂崩れの起きやすい崖と反対側の部屋など)へ移動してください。

■ 洪水や浸水時により、膝以上まで水が溜まっている場合は、水の中を避難しないようにしましょう。

・高齢者等の方は、膝丈以下の水位でも、水の流れにより立ってられなくなりますので、水の中での避難は避け、救助を待ちましょう。

内閣府 避難情報ポスターより

(文責: 防災部会 宮崎、玉崎、吉岡、角上、尾崎)

